

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月10日
上場取引所 東

上場会社名 TDCソフトウェアエンジニアリング株式会社
 コード番号 4687 URL http://www.tdc.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)谷上 俊二
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)岩田 伸 (TEL)03(6730)8111
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(アナリスト、機関投資家向け)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	9,705	-	660	-	672	-	401	-
27年3月期第2四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 360百万円 (-%) 27年3月期第2四半期 -百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	66.74	-
27年3月期第2四半期	-	-

(注) 平成28年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	10,960	7,538	68.8
27年3月期	-	-	-

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 7,538百万円 27年3月期 -百万円

(注) 平成28年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年3月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	0.00	-	28.00	28.00
28年3月期	-	0.00	-	-	-
28年3月期(予想)	-	-	-	28.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	-	1,300	-	1,300	-	780	-	129.51

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注2) 平成28年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注) 詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	6,278,400株	27年3月期	6,278,400株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	255,729株	27年3月期	255,689株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	6,022,694株	27年3月期2Q	6,102,854株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 当社は、平成28年3月期第1四半期より、連結決算へ移行いたしました。
 (2) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、当第1四半期連結会計期間より、四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期等との比較分析は行っていません。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日～平成27年9月30日）におけるわが国の景気は、輸出・生産面に新興国経済の減速の影響がみられるものの、緩やかな回復を続けております。また、企業収益が明確な改善を続けるなかで、設備投資は緩やかな増加基調にあり、情報システム投資は堅調に推移しております。

このような環境のなかで、当社は、平成25年4月から平成28年3月における中期経営計画『For the NEXT STAGE』のもと、「お客様から最も信頼されるパートナー企業の実現」を目指し、お客様の繁栄への寄与に努めております。また、お客様の経営課題と一緒に取り組むパートナー型ビジネス及びサービス提供型のソリューション型ビジネスの提案力強化を重点施策として取り組み、事業の拡大を図っております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は 9,705百万円、営業利益は 660百万円、経常利益は 672百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は 401百万円となりました。

【分野別の取組状況】

<アプリケーション開発分野（金融）>

銀行業、クレジット業、保険業などの金融業向けに業務アプリケーション開発の提供を行っております。当第2四半期連結累計期間は、銀行業や保険業などの金融業向けの大型システム開発案件が堅調に推移しており、売上高は 5,781百万円となりました。

<アプリケーション開発分野（法人）>

製造業、エネルギー業、流通業、サービス業などの法人や公共向けに業務アプリケーション開発の提供を行っております。当第2四半期連結累計期間は、製造業、エネルギー業向けの開発案件等に取り組んだ結果、売上高は 1,524百万円となりました。

<ソリューション分野（インフラ・ネットワーク）>

ITインフラの環境設計、構築、運用支援、ネットワーク製品開発、ネットワークインテグレーション等の提供を行っております。当第2四半期連結累計期間は、通信業向けや官庁向けのITインフラ構築案件等に取り組んだ結果、売上高は 1,673百万円となりました。

<ソリューション分野（パッケージ等）>

「Trustpro」、「HANDyTRUST」等のクラウドサービスやBI/DWH、ERP/CRMに関連するソリューションの提供を行っております。当第2四半期連結累計期間は、「Trustpro」に関連する案件やBI、ERPに関連する案件等に取り組んだ結果、売上高は 727百万円となりました。

(単位：百万円)

分野	当第2四半期連結累計期間	
	売上高	構成比
アプリケーション開発分野(金融)	5,781	59.6%
アプリケーション開発分野(法人)	1,524	15.7%
ソリューション分野(インフラ・ネットワーク)	1,673	17.2%
ソリューション分野(パッケージ等)	727	7.5%
合計	9,705	100.0%

なお、第1四半期連結会計期間から売上高の分野別の計数集計区分を変更しております。

また、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は10,960百万円となりました。

流動資産は9,191百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金5,025百万円、受取手形及び売掛金3,057百万円、仕掛品502百万円であります。

固定資産は1,768百万円となりました。主な内訳は、投資有価証券977百万円、差入保証金401百万円、有形固定資産163百万円、無形固定資産142百万円であります。

流動負債は3,222百万円となりました。主な内訳は、未払費用1,359百万円、買掛金708百万円、短期借入金476百万円であります。

固定負債は199百万円となりました。主な内訳は、長期未払費用103百万円、資産除去債務48百万円であります。

純資産は7,538百万円となりました。主な内訳は、利益剰余金5,759百万円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は5,025百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

未払消費税等の減少319百万円、法人税等の支払い290百万円、たな卸資産の増加237百万円などがありましたが、税金等調整前四半期純利益672百万円、売上債権の減少647百万円などがあり、営業活動によるキャッシュ・フローは338百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

利息及び配当金の受取額13百万円がありましたが、投資有価証券の取得による支出85百万円、無形固定資産の取得による支出9百万円、従業員に対する貸付けによる支出8百万円などがあり、投資活動によるキャッシュ・フローは△88百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の純増額75百万円がありましたが、配当金の支払168百万円などがあり、財務活動によるキャッシュ・フローは△97百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年7月14日に公表した通期業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より、TDCネクスト株式会社の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(平成27年9月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	5,025,391
受取手形及び売掛金	3,057,139
仕掛品	502,564
繰延税金資産	502,334
その他	104,415
流動資産合計	9,191,845
固定資産	
有形固定資産	163,042
無形固定資産	142,076
投資その他の資産	
投資有価証券	977,369
関係会社株式	37,280
関係会社出資金	0
差入保証金	401,192
その他	57,990
貸倒引当金	△10,752
投資その他の資産合計	1,463,079
固定資産合計	1,768,199
資産合計	10,960,045
負債の部	
流動負債	
買掛金	708,038
短期借入金	476,000
未払金	145,224
未払費用	1,359,725
未払法人税等	285,691
役員賞与引当金	39,650
資産除去債務	1,099
その他	206,930
流動負債合計	3,222,360
固定負債	
長期未払金	32,904
長期未払費用	103,427
リース債務	1,568
資産除去債務	48,784
繰延税金負債	12,732
固定負債合計	199,417
負債合計	3,421,777

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(平成27年9月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	970,400
資本剰余金	820,450
利益剰余金	5,759,574
自己株式	△222,934
株主資本合計	7,327,490
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	210,777
その他の包括利益累計額合計	210,777
純資産合計	7,538,267
負債純資産合計	10,960,045

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	9,705,665
売上原価	7,815,900
売上総利益	1,889,765
販売費及び一般管理費	1,229,693
営業利益	660,071
営業外収益	
受取利息	458
受取配当金	12,623
保険配当金	1,869
その他	2,437
営業外収益合計	17,389
営業外費用	
支払利息	2,252
投資有価証券評価損	1,750
その他	1,146
営業外費用合計	5,149
経常利益	672,312
税金等調整前四半期純利益	672,312
法人税等	270,359
四半期純利益	401,952
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	401,952

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成27年4月1日
至平成27年9月30日)

四半期純利益	401,952
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△41,910
その他の包括利益合計	△41,910
四半期包括利益	360,042
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	360,042
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	672,312
減価償却費	44,284
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,350
受取利息及び受取配当金	△13,082
支払利息	2,252
売上債権の増減額(△は増加)	647,386
たな卸資産の増減額(△は増加)	△237,956
仕入債務の増減額(△は減少)	30,775
未払金の増減額(△は減少)	△38,611
未払費用の増減額(△は減少)	△148,208
未払消費税等の増減額(△は減少)	△319,228
その他	1,538
小計	628,113
法人税等の支払額	△290,048
営業活動によるキャッシュ・フロー	338,064
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△2,659
無形固定資産の取得による支出	△9,182
投資有価証券の取得による支出	△85,053
従業員に対する貸付けによる支出	△8,260
従業員に対する貸付金の回収による収入	3,521
利息及び配当金の受取額	13,082
投資活動によるキャッシュ・フロー	△88,552
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	75,000
利息の支払額	△2,407
配当金の支払額	△168,635
リース債務の返済による支出	△1,045
その他	△48
財務活動によるキャッシュ・フロー	△97,137
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	152,374
現金及び現金同等物の期首残高	4,776,765
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	96,251
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,025,391

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当事業年度(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当事業年度(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

当社グループは、開発から運用・管理までの一貫したシステム開発サービス及びシステム製品の販売等を一体とするシステム開発事業を営んでおり、当社グループにおけるセグメントは「システム開発」のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。